

---

## 岐阜県立可児高等学校

学 校 長 水口 猛  
学 校 住 所 岐阜県可児市坂戸987の2 電話 0574-62-1000

---

- 1 会議の名称 岐阜県立可児高等学校 学校評議員会（第2回）
- 2 会議の構成
- |       |       |              |
|-------|-------|--------------|
| 委 員   | 大野 裕司 | (元美濃加茂西中学校長) |
|       | 桂川 直人 | (岐阜県農業大学校長)  |
|       | 松井 慶子 | (元本校PTA役員)   |
|       | 松尾 和樹 | (NPO 縁塾代表)   |
|       | 若尾 裕史 | (坂戸地区自治会長)   |
| 学 校 側 | 水口 猛  | 校長           |
|       | 井藤 勝夫 | 教頭           |
|       | 岩田 肇  | 事務長          |
|       | 金本 淳  | 教務主任         |
|       | 岩島 章雄 | 生徒指導主事       |
|       | 田内 俊文 | 進路指導主事       |
|       | 片山 大輔 | 教務部・記録係      |
- 3 会議の目的 学校運営について、保護者や地域住民から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。
- 4 会議の開催 令和2年2月10日（月） 14:30～16:30 可児高等学校校長室
- 5 会議の概要
- (1) 学校長挨拶
  - (2) 授業参観・校内見学
  - (3) 議題
    - ア 教育に関する年間数値データについて
    - イ アンケート結果について
    - ウ 各分掌より
      - ① 教務部
      - ② 生徒指導部
      - ③ 進路指導部
      - ④ 学校預り金について
      - ⑤ 危機管理マニュアルについて
      - ⑥ その他
    - エ ご提言・ご感想等
    - オ その他

## 6 ご提言・ご感想等

<アンケート結果について>

- 意 見 1 文化発表会の満足度が低いことが気になる。生徒の意見をくみ取ってより充実した発表会になるよう工夫していただきたい。
- 回 答 体育大会と文化発表会が連続日程で行われることもあり、伝統的に体育大会の比重が高くなっている。生徒会を中心に文化発表会を盛り上げたいという意見もあるので、学校としてもそれを応援していきたいと考えている。
- 意 見 2 アンケートの「いじめに対して厳しく対応している」について保護者も生徒も昨年度まったくあてはまらないが0だったものが1になっている点が気になる。

回 答 本校では迷惑調査を年3回実施しており、本人が嫌な気持ちに感じた時点でいじめと定義し計上している。大半は傘などの物がなくなった件であるが、すべての事案について調査後すぐに組織で対応している。ご意見にあるアンケート結果を踏まえ、生徒への指導、職員の研修等をさらに進めていきたい。

#### <生徒指導について>

質 問 1 遅刻の目標値が学年を経るごとに増えているのはなぜか。

回 答 学年が上がるにつれて遅刻が増加していく傾向があるので、生徒の自覚を促して全体的に減らしていけるよう努めたい。

質 問 2 制服の名称が男女ではなく、A・Bとなるようですが、LGBTに配慮するためか、寒さ対策なのかどういった理由で変わるのか。

回 答 LGBT等の多様な生徒に配慮できるよう校則等を見直したが、様々なケースに柔軟に対応できるようにしている。

質 問 3 頭髪の見直しについてはどうか。

回 答 細かく記載していたものを、「清潔、端正な髪型であること」、「頭髪の加工及び不自然なカットを施さない」と規定した。

意 見 3 外国籍など多様な生徒がいるので人権に配慮する必要がある。

回 答 エンリッチ活動等でも多文化共生をテーマとして扱うなどしているが、今後さらに進めていきたい。

#### <その他について>

質問4-1 授業参観をして多くの先生がプロジェクターを利用していたが、ICT環境が整えられて効果的に運用できているか。

回 答 以前から黒板にホワイトボードシートを貼り、パソコンを用いた授業を行っていた先生もいるため、その延長で使用できている印象である。ほとんどの先生が積極的に授業で活用している。

質問4-2 Wi-fiを使用して、解答等を教員や生徒間で送信するなどの取組は行われているか。

回 答 多くの授業ではまだそこまで進んでいないが、校内外の研修等を通して効果的な活用方法を研究したい。デジタル教科書の導入や、他校のICT活用授業を参観して共有を図る取組をしているが、分かりやすい授業の実践と共に、いかに知識を定着させるかが課題であると捉えている。

意 見 4 授業準備に時間がかかると思うので、無理のない程度で頑張ってもらえるとよい。

意 見 5 会計データより、改めてPTA等の支援がないと学校運営が厳しい状態であるとわかった。

意 見 6 何かあった時はお互いに助けあえる関係が地域と学校で築けるとよい。

自転車の並走が減っており、学校の指導の賜物だと思う。

意 見 7 地域の若者のために懸命に取り組まれていると感じる。学校と一緒に地域をよくしたいと考えている。

## 7 会議のまとめ

授業参観、校内見学では、落ち着いた雰囲気の中、黒板がホワイトボードに変わり、ICT機器を活用した授業が増えて、教員それぞれの個性を活かした授業が行われているとの評価をいただいた。現在タブレットやWi-fiの使い方については研究中ではあるが、外部の活用講座、授業を参考により効果的な運用を考えていきたい。

働き方改革が進む一方、大変忙しい職場であるというイメージもあり、教員を目指す人が減少している。本校の行っている魅力的な取組を広く周知し、同時に教員の仕事の魅力も伝えられるとよいとのご指摘を受けた。また、変化が激しい時代に対応できる生徒を育成してほしいとのご要望をいただいた。そのために教員も時代の変化に柔軟に対応できるよう研鑽を積み、誠意をもって臨むことが重要であると感じる。地域の方の支えもあるので、いただいたご意見やご感想を大切にしながら改善を進めて、より魅力のある高校にしていけるよう努めていきたい。